

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>研究の名称 救急室でのディープラーニングを用いた超緊急イメージング読影</p> <p>研究の対象 2012年6月～2020年5月に当院で頭部CTを受けられた方 1200名</p> <p>研究の目的 救急部での画像読影は時間を要し、救急医の診療時間を圧迫しています。短時間で画像を読影しようとする、見落としが増え誤診が増えることになり、患者様の安全を確保できなくなることになります。医師の読影だけでなく、ディープラーニングを利用したコンピューターによる読影補助ができれば、安全な医療を提供することができます。そのコンピュータープログラムを開発し、その有効性を調べるのが今回の研究の目的とします。</p> <p>研究の期間 2017年9月から2020年8月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 外部委託先である東京大学宇宙線研究所・イームズラボ(株)へのデータの提供は、記憶媒体(DVD)に保存し、研究者が直接持参します。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報： 性別、年齢、背景疾患など 該当なし</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

利用する者の範囲	共同研究機関の名称及び研究責任者 共同研究機関はございません。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者 浜松医科大学 医学部救急災害講座 齊藤岳児
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：救急災害講座 担当者：齊藤岳児 TEL：053-435-2759 FAX：053-435-2152 E-mail：tjsaitoh@hama-med.ac.jp